

省令準耐火構造の住宅はお得で安心

耐火性能が高い建物は、火災・地震保険料が安くなります。

損保会社の火災保険料率改定に伴い、木造住宅の火災保険料が大幅にアップ！

そこで省令準耐火構造の住宅をオススメします。

家の耐火性能を向上させることで火災保険料が大幅にダウン！

■ 保険料がお得です。(火災保険料・地震保険料が大幅割引になります。)

★★★省令準耐火構造の建物で建築費が上がっても、保険料の割引分で十分にカバーできます。★★★

省令準耐火構造にした場合、材料代は坪5,000円程度UP！(例:30坪×5,000円=150,000円)

■ 福岡県 保険金額2,000万円

火災保険10年一括払い(地震保険を含まない)

ベーシックI型 自己負担なしの場合

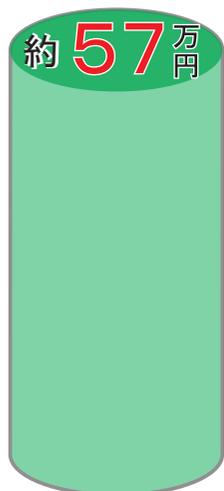
●一般木造保険料 …………… 571,450円

●省令準耐火構造保険料 … 245,140円

地震保険1年一括払い

●一般木造保険料 …………… 11,400円

●省令準耐火構造保険料 … 6,800円



一般の木造住宅
火災保険料



省令準耐火構造住宅
火災保険料

保険料が
約56%
ダウン！
差額約32万円



一般の木造住宅
地震保険料



省令準耐火構造住宅
地震保険料

保険料が
約40%
ダウン！

差額4,600円

4,600×10年
=46,000円

参考資料: 損保ジャパン日本興和WEB見積

※保険料は地域や保険会社によって異なりますので、詳細は保険会社等にご確認下さい。

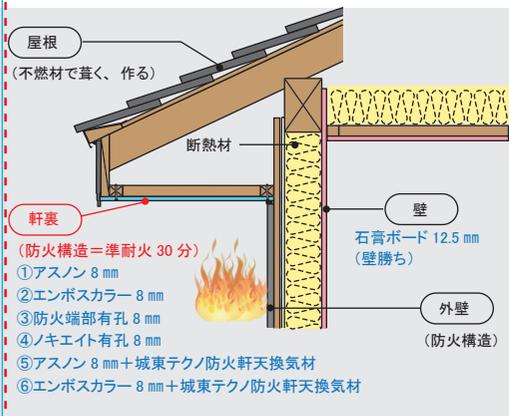
■ 3つの防耐火構造で、省令準耐火構造の基準をクリア

通常の木造住宅に比べ、防耐火性能が高く火災に強いので安心です。

1 外部からの延焼防止

(隣家から火をもらわない！)

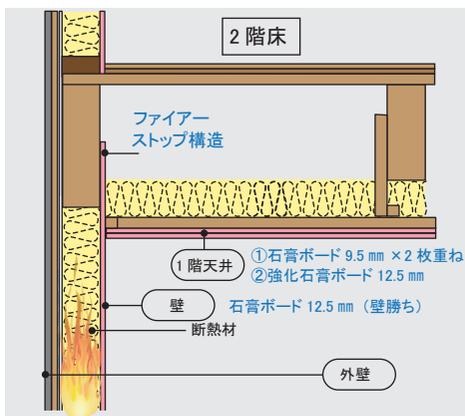
外部からの火が一定時間侵入しないよう、外壁と軒裏は防火構造を求められます。



2 他室への延焼防止

(万が一部屋から火が出ても延焼を遅らせる)

壁の中や天井裏など、火の伝わりやすい通り道を遮断して、燃え広がりを抑えます。



3 各室防火

(火災が発生しても一定時間部屋から火を出さない)

各室の壁と天井を不燃材の石膏ボードで覆い、他室への延焼を出来る限り遅らせます。

